

長期戦略:テーマ

「教育の長期的成果の検証
学修成果を把握・評価する仕組みの構築」

提出日 2021年 8月 24日

担当部署

II.実施計画帳票

長期戦略テーマの責任者 (統轄部署)	小野総合企画部長 (総合企画部)	実施計画の 担当部署	総合企画部・教務機構
-----------------------	---------------------	---------------	------------

1. 実施計画

実施計画(タイトル)	取組開始	達成状況 確認年度	学部・研究科での 取組み有/無	帳票
1-(1)-① 「Kwansei コンピテンシー」の策定と運用	2019年度	2024年度	必要⇒【必須型】(全学部または全研究科での取組みが必須)	不要
内容				
<p>本大学は、大学として「学部の区別なく学生が共通に身に付けるべき知識・能力・資質」(「Kwansei コンピテンシー」)を時代に即して新たに定め、各学部はそれを土台に「各分野における学位授与に必要な知識・技能」である DP(ディプロマポリシー)を再策定する。</p> <p>また、策定された「Kwansei コンピテンシー」を基に大学として「学部の区別なく学生が共通に身に付けるべき知識・能力・資質」の到達状況を測定、評価する取組を推進する。</p>				
進捗状況を測る指標	指標名	定義・算式		
指標1	Kwansei コンピテンシー策定の有無	Kwansei コンピテンシーが策定されたかどうか		
指標2	Kwansei コンピテンシーの到達状況を測定、評価する取組の有無	Kwansei コンピテンシーの到達状況を測定、評価する取組が卒業時調査等で実施されているか		
指標3				

目標1<指標1> Kwansei コンピテンシー策定の有無

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	完了	—	—	—	—	—
実績	(完了済み)					

目標2<指標2> Kwansei コンピテンシーの到達状況を測定、評価する取組の有無

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施
実績	実施	実施				

目標3<指標3>

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目標						
実績						

2. ロードマップ

		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
Kwansei コンピテンシーを保証する 仕組みの確立	策定段階	仕組みの検討	仕組みの検討	仕組みの確立	見直し	見直し
	2022 年 3 月 末段階	「カリキュラムの基本構造の改革」WGにてカリキュラム改革を検討中	—	—	—	—
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	-
	策定段階	見直し	見直し	見直し	見直し	
	2022 年 3 月 末段階	—				
		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
Kwansei コンピテンシーの到達状況を測定、評価する 取組	策定段階	方法の検討・実施	実施・改善	実施・改善	実施・改善	実施・改善
	2022 年 3 月 末段階	2019 年度卒業時調査にて実施	—	—	—	— (同一学生による評価・ 分析を開始)
		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	-
	策定段階	実施・改善	実施・改善	実施・改善	実施・改善	
	2022 年 3 月 末段階	—				

3. 費用計画・人員計画

【費用・人員を必要とする理由】							
非公開							
経費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度	2024年度	左記以降
非公開							
人員・人件費 単位:万円	2019年度 承認	2020年度 承認	2021年度 承認	2022年度 承認	2023年度	2024年度	左記以降
非公開							

4. 進捗状況・得られた成果

2019年度	2020年度以降入学生対象として、各学部 DP の前文に、「Kwansei コンピテンシーを達成する」旨追記することで、「Kwansei コンピテンシー」の修得を保障する仕組みの第一歩となった。加えて、2018・9年度卒業時調査と2019年度入学生調査におけるアンケートにおいて、基礎となる情報を収集中である。なお、一般的な結果として、卒業時点の全項目について「大変身についている」の回答数が向上する。
2020年度	入学時（4月）・卒業時（3月）の調査を実施した。なお、卒業時調査は、新型コロナウイルスの影響により、郵送方式となったため、回収率が大幅に下がったが、分析の結果、前年度と比較した各項目の進捗度は、概ね違いがなかった。
2021年度	
2022年度	
2023年度	
2024年度	

5. 今後の課題及び方向性

2019年度	「Kwansei コンピテンシー」は2019年1月に大学評議会で承認を得た。また、3月の卒業式当日に卒業生を対象とした調査を行った（高等教育推進センター）。「カリキュラムの基本構造の改革」WGでもそれらを保障するカリキュラムの在り方について議論は開始した。今後、卒業生調査の結果も踏まえ、「Kwansei コンピテンシー」の修得を保障する仕組み（どうすれば保証できると言えるかの議論含め）を全学的に検討していく必要がある。
2020年度	入学時（4月）・卒業時（3月）の調査を継続実施する。 あわせて、「Kwansei コンピテンシー」の修得を保障する仕組み（教育カリキュラム）の検討を継続する。
2021年度	入学時（4月）・卒業時（3月）の学生調査を継続実施する。 加えて、「ポストコロナにおける授業の在り方と基盤整備プロジェクト」を立ち上げ、教務機構によるオンライン授業の実態調査結果などを調べて、「Kwansei コンピテンシー修得の保証」を実現するための授業形態や環境について検討を開始している。
2022年度	
2023年度	
2024年度	

6. 学院総合企画会議の基本方針

2018 年度	—
2019 年度	—
2020 年度	—
2021 年度	—
2022 年度	
2023 年度	

7. Total Review の結果

【フェーズ I (2019～2021)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止: その理由と今後の方向性)
<ul style="list-style-type: none"> ・「Kwansei コンピテンシー」を 2019 年度に策定し、各学部だけでなく関西学院全体として通底するものと位置付けることができた。 ・2022 年度以降は同一人物の入学時・卒業時におけるデータが取得可能となるため、比較調査・分析を行う必要がある。 ・各学校においても一貫教育との関係において、卒業時にその修得状況を確認していくとともに、その結果を踏まえた教育改革を推進する必要がある。 	継続 ・ 廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・学修履歴データと「Kwansei コンピテンシー」の相関についての調査・分析

【フェーズ II (2022～2024)】

レビュー結果	可 否	備 考 (継続:「フェーズ II に向けた課題」 廃止: その理由と今後の方向性)
	継続 ・ 廃止	